

総合的な学習の時間 「研究の方法を学ぶ」

■3年 課題研究：主体的な学びを学ぶ

(1) 概要

中学校・高等学校6カ年の学習の第3段階である中学校3年生の総合的な学習「主体的な学びを学ぶ」は、単元Ⅰ「西九州」と単元Ⅱ「自分たちの生きている地域」の2つの単元から構成され、地域をテーマとして、探求学習を行う。単元Ⅰ「西九州」では、長崎を中心とする西九州地域について、それぞれが与えられたテーマごとの探究学習を行い、そのまとめとして「西九州案内記」を作成し、実際に現地で見たとあわせてプレゼンテーションを行う。単元Ⅱ「自分たちの生きている地域」では、生徒の生活する地域について、生徒各自が課題を発見し、テーマを設定して探究し、その成果を報告書にまとめるとともに、授業として他の生徒にもその成果を共有する。「西九州」で経験した探究活動をさらに質的に高め、資料そのものの事実に関する信憑性、意味づけの論理性、裏付けとなるデータなどの妥当性の分析・吟味などの手続きを通して、資料から導かれる地域を自らで構成してみる。

(2) ねらいとする能力・態度

- (批判的) データの信憑性、妥当性に対し、クリティカルに考察する能力や態度
- (多面的・総合的) データを多面的・総合的に判断して、その意味を正しく解釈する能力
- (コミュニケーション) データ分析を通し、自分の考えを根拠に基づき、正しく表現する能力
- (協力) 他者の分析や意見を尊重しながら、自らの考察を行い、フィードバックする態度
- (つながり) 自らの生活と地域、自らと他者とのテーマなどのつながりを考え、広い視点を得ようとする態度

(3) 授業展開及び教材の工夫

- ・単元Ⅰ「西九州」では、西九州の地域性を考察し、探究していく。例えば、長崎は、唐船の来航と大陸文化、キリシタンと南蛮文化、西洋近代科学の窓口、開港と外国人居留地、原爆投下の悲劇と「平和」発信など、それぞれの時代が織りなすさまざまな要素が複合した国際都市である。それ故、魅力ある教科横断的な教材が開発できる可能性にあふれており、生徒の将来の「生き方」に示唆を与える時間と空間を超えた多くの課題も見いだすことができる。この「西九州」は当校中学校3年生が社会見学旅行で訪れ、グループ別の自主研修を実施している町でもある。したがって、「見知らぬ町」から「興味ある町」へと変貌を遂げる体験的な学習場面としても織り込むことができる。
- ・単元Ⅱ「自分たちの生きている地域」では、自分の生活する地域を考察し、探求していく。単元Ⅰで経験した探求を、身近な地域のなかで発展的に深めていく過程を通して、地理的あるいは歴史的背景にとどまらず、広く教科横断的なつながりを見だし、発見したデータや事象について、論理的、体系的に構成することで、よりよい学びを経験することができる。また、まとめた内容を授業にして他生徒に示し、本人、他の生徒、教員からのフィードバックを通して、表現の工夫を学ぶことができる。

(4) 年間指導計画 (70時間扱い)

月	単元名	学習のテーマ・ねらい	学習の具体的な内容
4	Ⅰ「西九州」	◎はじめに 1. 西九州を知る ・「西九州」という地域に関する基本的知識を習得するとともに、「西九州」に対する関心を深め、科学的探究を行う意欲を喚起する	①西九州の地理 長崎を中心とする西九州の地理と地形 ②西九州の歴史 長崎を中心に上げ、長崎開

6		<p>2. 西九州から学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「西九州」という地域を説明する概念的知識を習得するとともに、問題の発見や課題を設定する ・探究する方法を習得する 	<p>港から明治初までの変化 近現代の長崎の変遷</p> <p>③まとめとテーマ領域の提示 テーマ領域の事例： ヨーロッパとのつながり，中国とのつながり，平和，長崎の歴史と文化，食文化，交通など</p> <p>①探究の準備 テーマ選択とグループ分け</p> <p>②探究活動 書籍や Web サイトの利用と情報の整理</p> <p>③探究のまとめ 『西九州案内記』の作成</p> <p>④フィールドワーク</p>
9		<p>3. 西九州から考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの探究を振り返り，自分たちの探究そのものについて考え，学習する。 	<p>①プレゼンテーションの準備 「西九州」について探究したこととフィールドワークで新しく得た情報をまとめる</p> <p>②プレゼンテーション テーマごとに探求とフィールドワークの報告</p> <p>③まとめ 自らの探求と他生徒の発表を通して，西九州の地域性を考える</p>
10	II 「自分たちの生きている地域」	<p>1. 自分たちの生きている地域を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ設定のための資料収集や問題発見の手順を確認する 	<p>①テーマ領域の提示 テーマ領域の事例： 自然，文学，歴史，産業，環境，くらしなど</p> <p>②地域の情報の収集 テーマ領域にとどまらず，多様なデータや情報を収集する</p>
11		<p>2. 自分たちの生きている地域から学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の吟味や構成の手順を習得する 	<p>①研究の立案・準備 収集したデータや情報をもとにレポートのテーマを設定する</p> <p>②各自で調べ学習</p>
1		<p>3. 自分たちの生きている地域を見つける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究内容について授業を行い，自分たちの生きている地域の地域性を考察する 	<p>①研究のまとめ 研究レポートを完成させる</p> <p>②授業準備 研究レポートについての授業を行うためのワークシートやプレゼンテーションを作成する</p> <p>③授業 研究レポートについて全生徒が授業を行う</p>
		<p>◎まとめ</p>	<p>振り返りと考察 他生徒や教員からのフィードバックを参考に，自分の活動を振り返り，探求活動を通して得た学びの方法について考察する</p>